



QRコードを読み取り、ホームページ  
を見ることができます。スマイル附属情  
報を様々な発信中です！

令和3年度 附属小学校だより

# スマイルふぞく



第12号 令和4年3月10日（木） 校長 古野 祐一

## 2年ぶりの遠足！

1学期に中止した遠足を、最後に実施できたことで学校に活気が戻ってきたように感じます。特に1・2年生にとっては小学校で初めての遠足で、出発の挨拶もひととき大きな声が響いていました。

まん延防止期間が明けのを待ちつつ、コロナウイルスの感染状況を見据えながらの遠足でしたので、いつもと違う部分も多くありました。出発は時間差で密を防ぎ、長崎市営ラグビー・サッカー場と隣の松山陸上競技場の2会場に分かれて到着。それぞれの遊び場も区画を決めて距離を十分に取ながらの学級遊び。普段と違う場所が、いつもの遊びをより楽しく感じさせてくれます。何より、家族の思いも一緒に詰まったお弁当が、思い出深い一日を際立たせてくれました。

残りの日々、コロナウイルスの現状を見極めながら、子どもたちの安全安心を第一に考えつつ、今できる最善の教育を迫及していきます。



パートナー遊び楽しむ1・6年生。



芝生一つ残さない片付けをする6年生。

## 判断力が育つ避難訓練！

9日（木）に3回目の避難訓練を実施しました。今年度は、事前通告無しの避難訓練を新しく取り入れ、その2回目でした。実際に危機が近づいた時、時々の状況を自分の五感で感じ取りながら判断し行動選択する力を付けてほしいという願いがあります。

中休みに避難ベルが鳴り、運動場で遊んでいる子、図書館に行っている子と様々な場所からの避難です。放送に耳を澄まし「第2理科室から出火」と分かるや火元から離れた正門付近、1年公園辺りに避難開始。初めての避難場所にもかかわらず混乱は少なく短時間の避難ができました。家や学校を一步出た時から、自分を守る意識も醸成できるよう、引き続き効果ある訓練に努めていきます。



正門側へ非難する子供たち。

## 「学校評価」で更なる向上を！

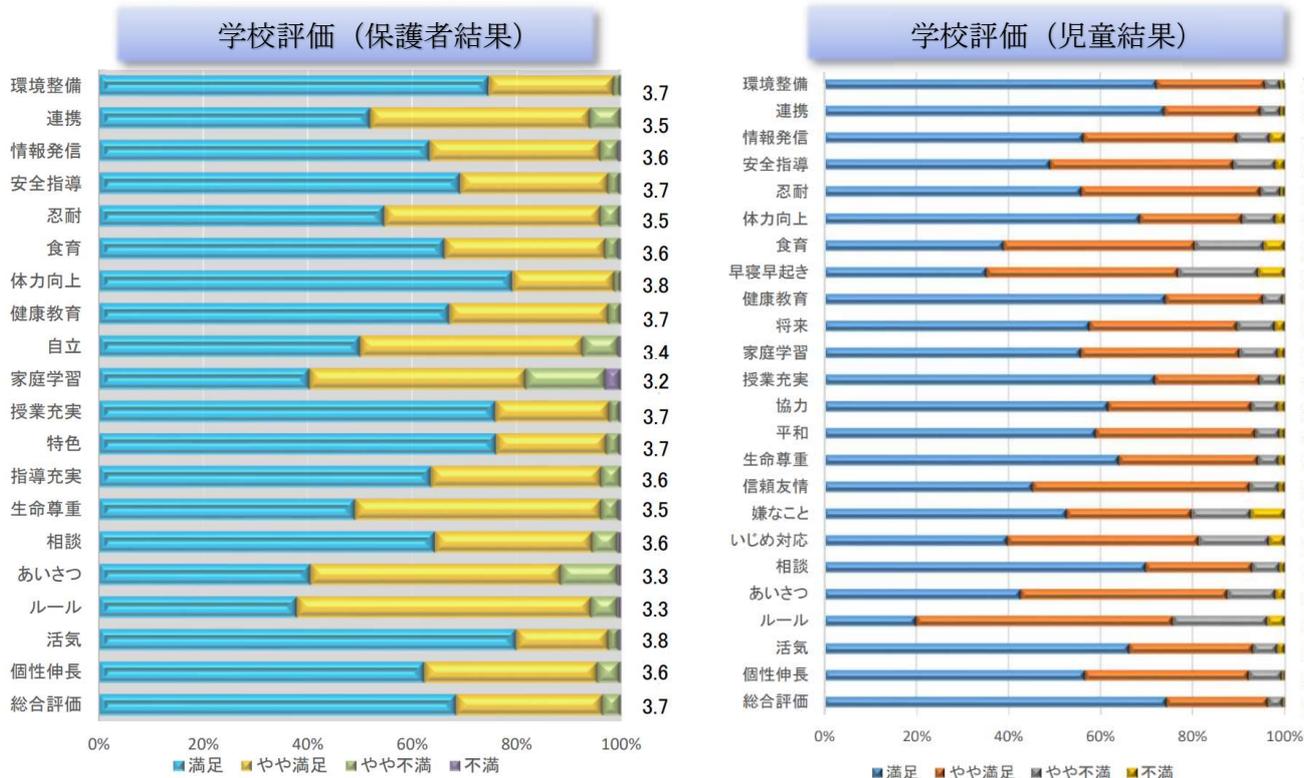
学校評価への御協力をいただき有り難うございました。スマイル附属を創りたいという願いの下、「一步前へ、何度も挑戦」する子どもの育成に努めてきたこの1年を総括することが出来ました。良い部分は強化し、不足が見られる部分は具体的な目標を掲げ引き上げていくよう改善を図っていきます。裏面には集計結果と主な分析を掲載しておりますので御覧ください。



公園に避難した子どもたち。

※裏面に続きます！

2月保護者・児童を対象とした学校評価（アンケート調査）を実施いたしました。調査への御協力、ありがとうございました。附属小では、経年変化を基に、対策の手掛かりを得ることから、昨年度と同様に4段階評価中、3.3ポイント以上を達成レベルとしています。



### 【保護者の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価をいただいた項目は、13項目あります。

「総合評価」「個性伸長」「活気」「相談」「指導充実」「特色」「授業充実」「健康教育」「体力向上」「食育」「安全指導」「情報発信」「環境整備」です。

そして、昨年度との比較で評価が上がった項目は、「ルール」「あいさつ」「生命尊重」「体力向上」の4項目です。下がった項目は、「特色」「授業充実」「自立」「食育」「環境整備」の5項目です。「特色」「授業充実」「環境整備」は、昨年度よりも0.1ポイント下がったとはいえ、項目評価ポイントでは3.7、「食育」も3.6ポイントと高い評価を残しています。このことは、日々の授業を大切に、附属学校としての使命を果たす本校の営みについて保護者の皆様に御理解いただいているものと考えております。

しかしながら、「自立」については、3.3ポイントを上回っているとはいえ、改善が必要です。来年度に向けて、日々の授業と夢の実現とのつながりを明確にしたり、主体性を引き出すかわりを意識したりしていきたいと考えております。

また、「あいさつ」や「ルール」についても習慣化のための取組を強化したいと考えております。

### 【児童の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価だった項目は、11項目あります。

「総合評価」「活気」「相談」「生命尊重」「平和」「協力」「授業充実」「将来」「体力向上」「情報発信」「連携」です。

そして、昨年度との比較で評価が上がった項目は、「将来」「食育」「体力向上」「情報発信」の4項目です。下がった項目は、「健康教育」「早寝早起き」「忍耐」「安全教育」「環境整備」の5項目です。

全体で見ると、「いじめ対応」や「嫌なことをされない」「早寝・早起き」「ルール」が、達成レベルに届いていない状況です。「スマイル附属を創る」ために、「お互い様の心」「一生の友との出会い」等の意識の向上が見られる場面が多くなりましたが、達成レベルになるには改善に向けた取組が必要です。

そこで、「複数の目で見守り、皆でかかわること」「どんな時も一人一人の思いに耳を傾けること」を合言葉とし、心のサインに気付くことを意識していきたいと考えています。そして、その取組を続けていくことで、子ども一人一人の心が明るくなり、「早寝早起き」の改善にもつながると考えています。

今年度の御協力ありがとうございました。